

## 中学校第1学年 道徳学習指導案

- 1 主題名 礼儀・適切な言動 2－(1) 礼儀・適切な言動
- 2 資料名 「明日香の決断」(自作資料)
- 3 主題設定の理由

### ○ ねらいとする価値について

携帯電話やパソコンのインターネットなどの便利な情報ツールの登場で、生徒たちを取り巻く社会環境や生活様式、コミュニケーションの方法が変化してきている。そのため、情報ツールを使ったコミュニケーションを取る場合の道徳的判断力、情報モラルが求められている。

メールのやり取りにおいては、言葉の受け取り方の違いによって誤解が生じる場合があり、相手の立場に立ったコミュニケーションをとる必要がある。

そこで、メールでのコミュニケーションにおいても相手を思いやる心が大切であると気付かせるとともに、適切な礼儀について考えさせたい。

### ○ 生徒の実態について

男女ともに仲が良く、元気に発言できる生徒が多い学級である。しかし、入学してから8ヶ月以上が経つ現在でも、本学級の生徒たちの間で、時折、よく考えることなく思いつきで発する言葉が原因となるトラブルが起こることがある。誤解があったり、不適切な言動があったりして言葉の大切さについては、日頃から考えなければいけないような場面も多く見られる。

また、生徒数40名のうち、携帯電話を所有しているものは8名いる。さらに、自分専用のものを欲しいと思っている生徒が20名と全体の半数に上る。このことから、携帯電話をはじめとするコミュニケーションツールに対する興味・関心は高いと言える。

### ○ 資料について

本資料「明日香の決断」は、携帯電話に夢中になっている中学生1年生の明日香が、友達に何気なく送ったメールの内容が誤解され、その解決のためにどうすればいいのかと悩む話である。塾の帰りの連絡用として携帯電話を購入してもらったはずが、いつしかメールにのめり込み、メールで使用する言葉にも荒さが目立つようになる。そして、自分が伝えたかったことがメールで伝わらず、友達に誤解を与えてしまったことにとまどいを感じ、メールでの伝達に限界があることを感じていくという内容である。

この話は、メールは文字による意思伝達であるがゆえに生じるトラブルを扱っているので、教師の範読による紹介ではなく、文字を文字として見せる工夫として、プレゼンテーションを使用して教材の提示を行いたいと考えている。そして、普段身近にある携帯電話というコミュニケーションツールによって、簡単に言いたいことを言うことができる反面、文面によっては誤解が生じるという側面にも気付かせたい。また、明日香の決断した行動を空欄にしておくことにより、生徒の多様な意見を出させ、そこから何がより良い言動なのかを考えるきっかけとしたい。

### ○ 情報モラル教育の視点について

学級のほとんどの生徒が携帯電話を使用した経験があり、携帯電話でのメールも半数の生徒が経験しているという実態がある。本資料のようなメールでの誤解の経験は身近なことと考えられる。メールは文章による伝達手段のため、対面コミュニケーションと違い、相手がどのように受け取っているかは分かりづらい。メールでの誤解が元で人間関係が崩れることもある。相手の顔や表情が見えないからこそ気を付けたい礼儀や言葉の大切さを考えさせたい。

### ○ 指導の重点

指導に当たっては、まず、導入において、以前行った携帯電話に関するアンケートの結果について触れるところから、携帯電話が身近なコミュニケーションツールの一つであるということを認識させたい。また、教材提示では、パソコンのプレゼンテーションソフトを使用し、実際にメールの送受信が展開されているような臨場感を出していきたいと考えている。また、何でも携帯電話のメールで言いたいことが伝えていたはずが、伝わらなかったという壁にぶつかり、それを乗り越えようとして、適切な行動をとろうとすることを決断する明日香の心情にも迫りたいと考えている。最後に、自分のこととして、人とコミュニケーションを取る時に大切なことは何かということもしっかりと押さえ、直接会って話をするときにも、さらに相手を思いやった話し方が必要であるということも考えさせたい。

## 4 ねらい

メールのやり取りをする場面においても忘れてはならない適切な行動があることを知り、話す言葉や文字による言葉を選ぶときにも、相手を思いやる心が大切であることを感じ取らせる。

過程	学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
導 入 ／	1 携帯電話に関する実態調査の結果を見る。	○ この学級の携帯電話に関する実態調査の結果を見てみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>携帯電話を所有していなくても、「欲しい」と思っている人が多くいるということを知ること、将来コミュニケーションツールとして携帯電話を使う可能性が高いことを予感させる。</li> </ul>
	2 資料「明日香の決断」の教師の範読を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> <li>明日香の気持ちを考えながら聞かせる。</li> <li>プレゼンテーションソフトを使用して、携帯電話のメールを表示することで、資料の内容をつかませる。</li> </ul>
展 開	(1) メールを使っているときに起こる明日香の心情を考える。	○ 明日香が悪い言葉でメールを打つようになって、「大したことではない。」と思うようになったのは、なぜでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>そういう性格だから。</li> <li>話すときに気を付ければ良いと思っていたから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>起っているトラブルがメールの特性と関係していることに気付かせる。</li> </ul>
	(2) 何気なく送ったメールによって、誤解されて困っている明日香の気持ちを考える。	○ メールのことと瞳が怒っているという話を聞いて、明日香が「なぜ」という言葉を何度も心の中で繰り返したのは、どうしてでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>メールをただ送っただけなのに誤解されたから。</li> <li>仲が良い友達なのに誤解されたから。</li> <li>自分が伝えたかったことが伝わらず、誤解されたから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>何気なく送ったメールが原因で、明日香と瞳の間に誤解が生じていることを押さえない。</li> <li>明日香の気持ちを考えさせることで、メールによって、自分の言いたいことが言えなかったこと、伝わりにくかったということに気付かせる。</li> </ul>
	(3) 瞳に与えてしまった誤解をどうやって解くべきか決断した明日香の気持ちを考える。	◎☆明日香は「よし、そうしよう。」と言った後に、どんな行動をとったのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>瞳にメールを打ち直した</li> <li>瞳に電話した</li> <li>翌日、朝一番に直接会って話して、謝った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メールでのコミュニケーションが中心となっていた明日香がメールでは越えにくい感情の壁にぶつかって、何が一番良い選択かを考える気持ちを感じ取らせたい。</li> <li>自分で考えた後で、グループを作り班で何が一番良い選択かを考えさせる。</li> </ul>
／ 終 末	3 自己を見つめる。	○ 人とコミュニケーションをするときに大切なことは何かということについて、今日の話から思うことを書いてみましょう。	
	4 心のノートを読む。	○ 心のノートを読みましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションでは、単に言葉だけのやり取りではなく、相手を思いやる心が大切であるということ、心のノートを読むことで、感じ取らせる。</li> </ul>